

平成 28 年 5 月 14 日 年次支部協議会出席者名簿

年次	支部長	幹事長	副支部長等	執行部役員会	懇親会出席
30	堀合辰夫			(堀合辰夫)	堀合辰夫
31	長瀧富男				
32			吉野 實、佐藤 義		吉野 實、佐藤 義
33		山上嘉夫			
35	金川 護	成清治道			
36		石川捷敏			石川捷敏
37	庭山 卓	川島豊臣			
39	白石紀一		柳田晋次、小竹正倫	(柳田晋次)、高橋丈雄 (小竹正倫)	白石紀一、柳田晋次 小竹正倫、高橋丈雄
40	佐々木幸男	古谷泰久	新井嘉昭、新井孚	(佐々木幸男)	佐々木幸男、古谷泰久 新井嘉昭、新井孚
42	小林定寿	牧 教明	小島輝一		小林定寿、牧 教明 小島輝一
43	龍門海行				龍門海行
44	吉永匡宏		松木茂夫	(松木茂夫)	松木茂夫
45	相場有二	山城博光	平岩邦弘、竹谷光子	(相場有二)、(山城博光) 室 勝弘、(平岩邦弘)	相場有二、山城博光 室、勝弘、平岩邦弘、 竹谷光子
46	半澤 勉	遠藤一義	増田晃次郎、才野智裕	(半澤 勉)、(才野智裕) (増田晃次郎)	半澤勉、増田晃次郎、 才野智裕
48	山口隆司	佐藤愛子	小田眞一	(佐藤愛子)(小田眞一)	山口隆司、佐藤愛子 小田眞一
54	掛水省三		伊藤 充	(掛水省三)	掛水省三
55	川島正博				川島正博
57	浜田英明		東谷由香、村松聖子	(浜田英明) 乘兼浩明	浜田英明、乘兼浩明 東谷由香、村松聖子
58	内山 勢	柳 幸季		(柳 幸季)	内山 勢、柳 幸季
59	林 裕治	堀淵 茂			林 裕治
63			土田一博		
平元	竹内恒雄	小川 学		(小川 学)	小川 学
平 2	山本 卓	清水裕之	坂田真実	(清水裕之)	山本 卓、清水裕之、 坂田真実
平 19		間宮康之		(間宮康之)	間宮康之

平成28年5月14日(土)
中央大学駿河台記念館550号室

年次支部協議会全体会議

1. 代表幹事挨拶
2. 執行部役員紹介
3. 議題
 - (1) 平成27年度事業報告について
 - (2) 平成27年度決算について
 - (3) 平成28年度事業計画について
 - (4) 平成28年度予算計画について
 - (5) ホームカミングデーの実施内容について
 - (6) 中央大学学会会の副会長、常任幹事、幹事及び監事について
 - (7) 中央大学募金推進事務局から募金についての説明
 - (8) その他

年次支部協議会平成27年度事業計画報告

会議など

(1) 年次支部協議会全体会議

ア 第1回

日時：平成27年5月30日（土） 16:00～17:00 懇親会 17:30～19:30

議題：平成26年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成26年度決算報告について

：平成27年度事業計画案について

：平成27年度予算計画案について

：学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介

：ホームシングデーの実施内容について

：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成28年3月）に伴う幹事候補者の推薦について

：その他報告事項について

イ 第2回

日時：平成27年12月19日（土） 16:00～17:00 懇親会 17:30～19:30

議題：平成27年度事業計画の進捗状況について

：平成28年度事業計画案方針について

：平成28年度予算案方針について

：平成28年度幹事候補者の進捗状況について

：その他報告事項について

ウ 第3回

日時：平成28年3月12日（土） 15:00～17:00 懇親会 17:10～19:10

議題：平成27年度事業計画実績について

：平成28年度事業計画案について

：平成28年度予算計画案について

：平成28年度～平成29年度代表幹事（案）の承認について

：平成28年度～平成29年度執行役員（案）の報告について

：学会役員候補者選考委員会 委員選考結果報告・承認について

：募金推進委員会（仮称）の新設の報告について

：その他

白門2016年次支部設立に向けた卒業パーティーについて

(2) 執行部役員会議

ア 第1回

日時：平成27年4月23日（木） 18:30～21:00

議題：平成26年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成26年度決算報告について

- :平成 27 年度事業計画案について
- :平成 27 年度予算計画案について
- :学校法人中央大学評議員の推薦について報告・承認・紹介
- :ホームシングデーの実施内容について
- :その他報告事項について

ウ 第 2 回

- 日時：平成 27 年 9 月 24 日（木）19：30～21：00
- 議題：年次支部協議会の現幹事任期満了（平成 28 年 3 月）に伴う幹事候補者の推薦について
- :その他報告事項について

エ 第 3 回

- 日時：平成 27 年 12 月 19 日（土）14：00～15：30
- 議題：平成 27 年度事業計画の進捗状況について
- :平成 28 年度事業計画案方針について
 - :平成 28 年度予算案方針について
 - :平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について
 - :その他報告事項について

ウ 第 4 回

- 日時：平成 28 年 1 月 14 日（木）19：30～21：00
- 議題：平成 28 年度年次支部新執行部役員案・幹事候補案の承認について
- :平成 27 年度事業計画の進捗状況について
 - :平成 28 年度事業計画案方針について
 - :平成 28 年度予算案方針について
 - :平成 28 年度幹事候補者の進捗状況について
 - :平成 28 年度スケジュール案について
- （執行部役員会平成 28 年 4 月 21（木）：年次支部協議会平成 28 年 6 月 30 日（木）
- :その他報告事項について

エ 第 5 回

- 日時：平成 28 年 3 月 1 日（月）19：30～21：00
- 議題：年次支部協議会幹事一覧表（報告）
- :年次支部協議会執行部役員一覧表案
（募金委員会の新設）
 - :学会役員改選について
 - :「白門 2016 年」支部設立に向けた卒業パーティーについて
 - :大学支援委員会の報告

年次支部協議会平成27年度収支決算報告

1. 収入の部

- (1) 年度会費納入協力29支部納入額。
- (2) 懇親会費は開催3回の参加者負担額。
- (3) その他の収入。
 - ①受取利息収入は普通預金上期、下期利息額。
 - ②模擬店売上は発生せず。
- (4) 事業活動助成金。
 - ①広報紙・年次支部ニュース発行費への助成金。
 - ②予定した年次支部活動費と就職支援活動費への助成金は申請を見送った。

2. 支出の部

- (1) 会議会合費は懇親会費個人負担額と援助額。
- (2) 通信費は年次支部協議会、企画委員会、執行役員会等開催通知、年度会費納入依頼送料。
- (3) 印刷費は全体会議、執行部役員会等の資料印刷代と年次支部用封筒の印刷代。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会資料用紙の購入費。
- (5) 手数料は事業実施費用等の振り込み手数料及び時間外取り扱い手数料。
- (6) 事業支援費
 - ①学員交流委員会は平成28年卒業の年次支部への支援。
 - ②学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動実施費。
 - ③IT化推進委員会は年次支部協議会ホームページの更新等管理費。
 - ④大学支援委員会は学生英語スピーチコンテストへの協力
 - ⑤スポーツ応援団は箱根駅伝選手激励の横断幕の設置等の費用。
 - ⑤広報活動費は年次支部協議会ニュース4、5号の発行費と送料等。

平成27年度年次支部協議会収支決算報告 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差額	科目	予算額	決算額	差額
年度会費	300,000	290,000	△ 10,000	会議会合費	600,000	745,568	145,568
懇親会費	400,000	590,500	190,500	通信費	60,000	70,512	10,512
その他の収入	600	599	△ 1	印刷費	40,000	25,360	△ 14,640
利息収入	600	599	△ 1	消耗品費	10,000	3,000	△ 7,000
模擬店売上	0	0		手数料	5,000	908	△ 4,092
事業活動費	1,130,000	700,000	△ 430,000	事業支援費	1,280,000	1,091,604	△ 188,396
学生支援委員会	330,000	0	△ 330,000	学員交流委員会	50,000	10,000	△ 40,000
広報部活動費	700,000	700,000	0	学生支援委員会	330,000	137,619	△ 192,381
年次支部活動費	100,000	0	△ 100,000	IT化推進委員会	100,000	80,772	△ 19,228
				大学支援委員会	65,000	89,192	24,192
				スポーツ応援団	35,000	64,099	29,099
				広報部活動費	700,000	709,922	9,922
小計	1,830,600	1,581,099	△ 249,501	小計	1,995,000	1,936,952	△ 58,048
前期繰越金	3,914,612	3,914,612	0	次期繰越金	3,750,212	3,558,759	△ 191,453
合計	5,745,212	5,495,711	△ 249,501	合計	5,745,212	5,495,711	△ 249,501

次期繰越金


①普通預金 3,465,233
②現金 93,526

平成28年 4月 30日
年次支部協議会
会計幹事

平岩弘邦 

私は、平成28年4月30日駿河台記念館7階学員サロンにおいて、平成27年4月1日より平成28年3月31日までの収支決算について会計監査を実施した。
会計監査は帳簿並びに関係書類を照合するなどの監査手続きを行った結果、収支計算書は適正に作成されている。

平成28年 4月 30日
年次支部協議会
会計監事

野知祐 

年次支部協議会平成28年度事業計画（案）

1 基本方針（規約第2条）

- (1) 年次支部との連携・親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を推進する。
- (2) 中央大学及び学会の発展・興隆に寄与する。
- (3) 新設支部の結成支援を行う。

①白門会2017年会支部（平成29年3月卒業）

2 会議など

(1) 年次支部協議会全体会議

ア 第1回（予定）

日時：平成28年5月14日（土） 会議 15:00～17:00 550号室
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成27年度事業報告について（各委員会報告含）

- ：平成27年度決算報告について
- ：平成28年度事業計画案について
- ：平成28年度予算計画案について
- ：ホームシングデーの実施内容について
- ：その他報告事項について

イ 第2回（予定）

日時：平成28年12月17日（土） 会議 15:00～17:00 550号室
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：その他報告事項について

ウ 第3回（予定）

日時：平成29年3月11日（土） 会議 15:00～17:00 550号室
懇親会 17:10～19:10 プリオール

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

- ：平成29年度事業計画案方針について
- ：平成29年度予算案方針について
- ：その他報告事項について

(2) 執行部役員会議

ア 第1回

日時：平成28年4月21日（木）19：30～21：00

議題：平成27年度事業報告について（各委員会報告含）

：平成27年度決算報告について

：平成28年度事業計画案について

：平成28年度予算計画案について

：ホームジングデーの実施内容について

：その他報告事項について

イ 第2回以降必要に応じて実施予定

日時：平成28年5月14日（土）14：00～15：00

議題：平成27年度事業報告について

：平成27年度決算報告について

：平成28年度事業計画案について

：平成28年度予算計画案について

：ホームジングデーの実施内容について

：その他報告事項について

ウ 第3回（予定）

日時：平成28年12月17日（土）14：00～15：30

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

：その他報告事項について

エ 第4回（予定）

日時：平成29年2月10日（金）19：30～21：00

議題：平成29年度事業計画案方針について

：平成29年度予算案方針について

：その他報告事項について

オ 第5回（予定）

日時：平成29年3月11日（金）14：00～15：30

議題：平成28年度事業計画の進捗状況について

：平成29年度事業計画案方針について

：平成29年度予算案方針について

：その他報告事項について

3 各委員会実施事項

(1) 募金推進委員会（仮称）

(4) IT推進委員会

(7) 広報部（会報）

(2) 学員交流委員会

(5) 大学支援委員会

(3) 学生支援委員会

(6) スポーツ応援団委員会

年次支部協議会平成28年度予算編成について

1. 収入の部

- (1) 年度会費は前年度を基に計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(約3回分)
- (3) 事業活動費は事業支援費等に対する助成金(学生支援・広報活動)を見込んで計上。
- (4) その他の収入は、普通預金利息を計上、模擬店売上は不確定のため項目のみ計上した。

2. 支出の部

- (1) 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
- (3) 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会事務局文具費等を計上。
- (5) 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
- (6) 事業支援費
 - ① 交流委員会へは若年年次支部へ積極的な働きかけを行うための経費として。
 - ② 学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動費として計上。
 - ③ IT化推進委員会へは年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
 - ④ 大学支援委員会(大学が行うグローバル化の情報収集及び支援等)。
 - ⑤ 広報部は年次支部協議会会報の年2回発行(卒業生配付用含む)を予定し計上。

* 平成26年度実施形態を参考にして予算案を作成 *

平成28年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	300,000	会議会合費	600,000
懇親会費	400,000	通信費	60,000
事業活動費	1,130,000	印刷費	40,000
学生支援委員会	330,000	消耗品費	10,000
広報活動費(会報発行)	700,000	手数料	5,000
年次支部活動費	100,000	事業支援費	1,280,000
その他の収入	600	学員交流委員会	50,000
利息収入	600	学生支援委員会	330,000
模擬店売上 (ホームカミングデー)	0	IT化推進委員会	100,000
		大学支援委員会 (グローバル化支援)	65,000
		スポーツ応援団委員会 (箱根駅伝横断幕設置等)	35,000
		広報部(会報発行)	700,000
小計	1,830,600	小計	1,995,000
前期繰越金	3,558,759	次期繰越金	3,394,359
合計	5,389,359	合計	5,389,359

平成28年5月14日

年次支部協議会

会計幹事 平岩弘毅



【全体会議補足資料】

年次支部協議会 学員会役員推薦候補者一覧

平成28年5月14日

副会長（年次）	柳田 晋次 （昭 39 年）
副会長（年次）	室 勝弘 （昭 45 年）
副会長（平成年次）	山本 卓 （平成 2 年）
常任幹事	庭山 卓 （昭 37 年）
常任幹事	松木 茂夫 （昭 44 年）
常任幹事	相場 有 二 （昭 45 年）
幹事	※ 堀合 辰夫 （昭 30 年）
幹事	白石 紀一 （昭 39 年）
幹事	佐々木 幸男 （昭 40 年）
幹事	山城 博光 （昭 45 年）
幹事	増田 晃次郎 （昭 46 年）
幹事	佐藤 愛子 （昭 48 年）
幹事	掛水 省三 （昭 54 年）
幹事	浜田 英明 （昭 57 年）
会計監事	平岩 弘邦 （昭 45 年）

※4/26・学員会役員選考委員会～連絡有→年次支部協議会幹事候補の堀合辰夫氏が副会長「その他」枠に指名された。年次支部の幹事候補から外れるため幹事数は 11 名→10 名に変更。

推薦候補者枠

- ① 副会長（年次）2 名 ②副会長（平成年次）1 名 ③幹事 10 名（11 名）（内常任幹事 3 名）
④会計監事 1 名

I 選考委員会について（年次支部協議会）

年次支部協議会会則（平成 26 年 4 月 1 日施行）第 6 条 3 項

年次支部協議会は、学校法人中央大学の評議員並びに中央大学学員会の副会長、常任幹事、幹事及び会計監事（以下「評議員等」という。）を推薦するため選考委員会を置く。選考委員会の委員は、代表幹事が指名し、選考委員会の運営及び評議員等の推薦結果を年次支部協議会に報告し、承認を得るものとする。規約に基づき推薦委員を代表幹事が指名する。

1.推薦委員会 日時 平成 28 年 3 月 29 日（火） 18：00 駿河台記念館 715 号室

2.年次支部協議会役員構成メンバーの中から指名する。

①推薦委員の人数 8 人

②年代層はバランスよく中堅・若手の意見も聞く。（30 年代・40 年代・50 年代・平成代）

③女性の意見も聞く。

3.推薦委員長 Or 副委員長は推薦結果について、候補者を推薦した支部長に対し当日中に書面にて結果を通知する。

代表幹事は選考された推薦候補者について「候補者推薦書」に記入し「候補者調査表」（原本・支部長押印）を添付して学員会本部事務局宛送付する（4 月 1 日/15：00 必着）

4.選考委員会の運営及び学員会役員等の推薦結果については、次回開催予定の役員会・協議会全体会議・役員会（5/14 予定）にて報告し承認をうる。→3/12 開催の全体会議にて了承済

5.指名推薦委員

- ①高橋 丈雄 (39年・副支部長：年次支部協議会スポーツ応援団委員会委員長)
- ②相場 有二 (45年・支部長：学員会幹事：年次支部協議会次期代表幹事)
- ③山城 博光 (45年・幹事長・学員会幹事：年次支部協議会事務局長) → 副委員長
- ④半澤 勉 (46年・支部長・学員会協議員：年次支部協議会次期事務局長)
- ⑤佐藤 愛子 (48年・幹事長・学員会常任幹事：年次支部協議会副代表幹事 (広報部長/女性代表))
- ⑥掛水 省三 (54年・支部長：学員会協議員：年次支部協議会副代表幹事 (ホームシグナル担当) /50年代代表)
- ⑦清水 裕之 (平成2年・幹事長：年次支部協議会次期事務局次長)
- ⑧松木 茂夫 (44年・会長：学員会幹事：年次支部協議会現代表幹事 →委員長)

6.選考委員会の運営方法

(1) 候補者の推薦

- ① 各年次支部から候補者を募る。
- ② 年次支部協議会に積極的に参画し活動をしている方。
- ③ 中央大学や中央大学学員会に対し相応の貢献している方。
- ④ 年次支部協議会の活動について大学・学員会に対し積極的に意見・提言ができる方。
- ⑤ 大学・学員会からの状況を年次支部協議会にて報告・説明ができる方。

(2) 選考方法

- ①公平に ②客観的に ③私情を入れない ④各年次間のバランスを考慮等
- ⑤各候補者の支部「候補者推薦書」並び「候補者調査書」により役員別に各候補者毎に各選考委員の意見を聴衆し多数決により選考。

(3) 年次支部協議会選考枠

- ①学員会副会長候補者 (年次) 2名②学員会副会長候補者 (平成年次) 1名
- ③幹事候補者 11名 (内常任幹事 3名/選考委員会協議により決定) ④会計監事 1名。

(4) 推薦決定者に対し選考委員会からのお願い。

- ①年次支部協議会が推薦母体であることの自覚と見識。
- ②平成年次枠の副会長は、今回初めての推薦枠であり年次支部協議会の試金石となる。
- ③年次支部協議会の推薦者 (3名) で連携・協力を図る。
- ④平成年次副会長は年次支部協議会の平成年次支部を繋げ・活性化を図る。
- ⑤昭和 50年代は幹事に推薦された浜田幹事に 50年代を繋げ・活性化を図る。

以上

中央大学学生会年次支部協議会執行部役員一覧

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
代表幹事	相場 有二	昭 45	顧問	室 勝弘	昭 45
副代表幹事 (総括、広報)	堀合 辰夫	昭 30	顧問	山城 博光	昭 45
副代表幹事 (事務局)	小竹 正倫	昭 39	顧問	増田 晃次郎	昭 46
副代表幹事 (学生支援)	佐々木 幸男	昭 40	顧問	小田 眞一	昭 48
副代表幹事 (大学支援)	鈴木 康二	昭 42	130周年募金推進委員会 (仮称)	相場 有二	(代表幹事)
副代表幹事 (広報、事務局)	佐藤 愛子	昭 48	同上	半澤 勉	(事務局長)
副代表幹事 (ホームカミング)	掛水 省三	昭 54	同上	清水 裕之	(事務局次長)
副代表幹事 (学員交流)	乗兼 浩明	昭 57	学員交流委員会 委員長	浜田 英明	昭 57
副代表幹事 (IT 化推進)	小川 学	平 1	学員交流委員会 副委員長	佐藤 愛子	昭 48
事務局長	半澤 勉	昭 46	IT 化推進委員会 委員長	小川 学	平 1
事務局次長	清水 裕之	平 2	学生支援委員会 委員長	岩倉 史門	平 25
広報部長	佐藤 愛子	昭 48	学生支援委員会 副委員長	佐村 大侑	平 19
広報副部長	柳 幸季	昭 58	学生支援委員会 副委員長	間宮 康之	平 19
会計幹事	平岩 弘邦	昭 45	大学支援委員会 委員長	小田 眞一	昭 48
会計監査	才野 智裕	昭 46	大学支援委員会 副委員長		
顧問	柳田 晋次	昭 39	スポーツ応援団委員会 委員長	高橋 丈雄	昭 39
顧問	正野 健樹	昭 43	副委員長	高橋 洋	昭 42
顧問	松木 茂夫	昭 44			

平成 28 年 5 月 14 日

年次支部協議会・学員交流委員会・・・平成 28 年度事業計画

1、 事業の目的

- ① 年次支部間の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を実現するため、イベントを企画する。
- ② 2016 年度新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する。
- ③ 中堅年代支部（昭和 50 年代～概ね平成一桁年代・白駿会まで）との「交流懇談会の開催」により、各世代間の親交を深め連携を図る。

2、 今年度の事業概要

- ① 2017 年度新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等への協力）と、設立後の活動のフォロー。
- ② 上記中堅年代支部会員との交流懇談会の開催を実施し、世代間の理解と親睦を深める。最初は支部長・幹事長等で実施見込み。・・・本年 10 月予定
- ③ 年次支部間の懇親イベントを通じ、情報交換、交流を実現する。
 - ・落語会、観劇、講演会、セミナー等
 - ・7 月中旬開催の BBQ(バーベキューパーティ)等

※上記イベントは支部内外の中大人脈をフル活用し実現する予定。

※特に設立間もない支部への参加呼びかけとその実現を図る。

- ④ 1 支部単位から 2～4 支部を単位とするユニットを形成し、それを 1 セルとして小集団の活動単位としていく方向。
最初の試みとして多摩キャンパスに移転した当時最初の 4～1 年生である 57 ネット、58 会、1984 会、60 会のユニット結成を実現していく方針。

※ 解散支部（昭和 26 年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）

3、 事業予算 50,000 円

- 内容
- ・新設支部への協力支援
 - ・中堅支部・若手支部会員との交流懇親会開催

平成 28 年 5 月 14 日

※本ペーパーの記載内容は 3 月 12 日に実施された全体会議でご報告した内容と同一です。

年次支部学員交流委員会 平成 27 年度事業報告

活動実績

- ① 権守前交流委員長退任の為、野球応援観戦後、慰労会などの企画を変更し
スポーツ応援委員会と協力して、箱根駅伝予選会応援、箱根駅伝応援を実施
- ② 創立 130 周年記念ホームカミングデー（10 月 25 日開催）時の 2015 新
支部設立に向けて、支援協力体制を整える
・記念式典では壇上で分部由莉子 2015 年新支部長が支部旗を授与され、
新支部設立を承認されたのに伴い祝賀会を多摩キャンパス学食で開催。
各年次支部長はじめ各支部 2 名の参加要請を依頼、15 支部 25 名程の参加ご
協力を戴いたが、2015 年卒業生の参加が少数の為、次年度での参加者誘致
の方法など再考すべき反省点が残った。
- ③ 2016 年新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等の
協力）
2016 年卒業準備会メンバーや 2015 年新支部のメンバーとのミーティン
グなどを通じて、今年度も卒業パーティ等の協力支援を継続的に実施。

実施例～ 44 会支部長の発案で、今後、新支部への支援協力の一環として

44・45 会支部総会等に招待し、若手支部育成や交流の足掛かり
していくことの協力申し出があり、12 月 5 日忘年会に 5 名が招待を受け交流
を図った。

- ④ 平成 27 年度第 2 回全体会（平成 27 年 12 月 19 日）に於いて学員会年次支
部担当の室副会長による【マイナンバー制度】についての講演会を開催。

今年度の事業予算

50000 円

内容 若手支部会員との交流懇親会開催ほか

学生支援委員会 活動報告とご依頼事項

1. 2015年度事業報告

3/12(土)の年次支部協議会での配布資料と重複するため割愛

2. 2016年度事業計画と進捗

3/12(土)の年次支部協議会での配布資料と重複するため概要のみ記載

- 1) プレイメント (11月頃を予定、詳細検討中、少人数規模、「進路相談会」との連動を予定)
- 2) 進路相談会 (1月下旬を予定、基調講演+レクチャー+相談会形式を予定)

進捗報告

- ・新社会人スタッフ (3名)・学生スタッフ (2名) の確保
- ・協力 OBOG アプローチ準備中・企画骨子・告知手法検討中

企画の精緻化について

プレイメントについてはこれから企画具体化予定

背景：2016年卒の経団連加盟企業の面接は6/1以降開始することから、

現時点で外部環境の振返り精緻化は困難、早くても8月にならないと分析は不可能

承認：本企画開催前の役員会議にて報告・ご承認

3. 大学へのご依頼事項

学生支援委員会の活動推進 (企画告知) のためのご依頼事項

- 1) 早期教室確保のご協力 (告知物に掲載・開催3ヶ月前)
- 2) 学内掲示板の利用に関する確認 (学部掲示板等)
- 3) 学内での案内に関するご協力

※その他 web 上の告知は本委員会内で実施

2015年度実施総括

学生支援委員会

2016年3月12日
年次支部協議会

2015年度実施総括(1) 進路相談会

1. 実施内容 (Do)

・外国人(留学生向け)相談会の実施

日程: 2015年11月14日

規模: 内定者1人×就職活動生2人

内容: ①オープニングガイダンス、企業側からみた外国人採用で重視していることを説明
②進路相談会(来年からJTBアジアパシフィック入社の内定者)

・若年卒業生(入社3年目迄)が相談員となる進路相談会の実施

日程: 2015年11月14日

規模: 社会人(協力者・内定者)8人×就職活動生6人

内容: ①オープニングガイダンス、進路を考える上で、多様な価値観に触れる必要性について
②進路相談会(社会人4名・内定者4名)

2. 振り返り(Check)

1. 参加人数

学生は、当初想定以下の人数

同時期実施の就職支援会社による外部セミナーも軒並み空席が目立ったとのこと(某社情報)

2. 実施形式

①参加者による実施満足度は例年以上だが、如何せん参加人数が少ないのと、参加者のモチベーションが低く、本年においては判断が難しい。

②参加社会人(若年層)・内定者(4年生)の質的向上が図れ、彼らのネットワークは今後も必要。

3. その他

①広報周知不足が一番の失敗要因

②教室確保も例年苦勞、時間を要した

③後述する外部環境も大きく揺れ動いた時期であり、本格的な活動の予兆すらみれなかった時期。

④モチベーションの高い学生は、既に学外で活動を開始していたことも、多数の就職支援会社データより裏付けあり。企業のインターンシップ等に参加していたのではないか。



2015年度実施総括(2) 進路相談会

1. 実施内容 (Do)

・進路相談会の実施

日程: 2015年12月5日

規模: 社会人(協力者)12人×就職活動生8人

内容: ①南甲倶楽部とのコラボレーションにより実現した、中央大学OB/OGIによる基調講演

②進路相談会(被相談者は20代半ばから30代前半が主)

③オリエンテーション(クロージングガイダンス)

2. 振り返り(Check)

1. 参加人数

社会人: やや下回る人数(今回も3分の1程度の入替えを実施、目指すゴール目標に共感する社会人を起用)

学生: 大幅に想定以下、多数の学生はまだまだ様子見、モチベーションの高い学生は企業のインターンシップ等に参加? 二極化がますます進んだ年といえる。

2. 実施形式

①基調講演(大和ハウス工業株式会社 取締役常務執行役員 芳井 敬一様)、
残念ながら学生にあまり響かず、若手社会人からかなりの好評価を得る。テーマをグローバルに舵をきったからか。

②進路相談会: 社会人年齢について、30代前半を厚めに声掛けを行うも、いまいち集めきれず。
多様化された価値観に触れる機会提供については、例年通りの評価。社会人選定については、一部見直す。

3. その他

①広報周知不足が一番の失敗要因。学生の情報入手手段を分析する必要あり。

内定者(4年生)の声として、モチベーションの高い3年生にアタックするなら、学内PRだけでは不十分との声あり。

②学生団体(CANVAS+)の弱体化も広報周知不足の一因。(現在、3年生3名、2年生3名、1年生1名)

モチベーションの高い、各種学生団体への接触は不可欠な状況。

③加えて、南甲倶楽部とのコラボレーションも告知が十分にできなかった。モチベーションの高い学生との早期接触で彼らに伝道師となるような我々の仕掛けも今後必要と思料。

④協力社会人の選定は、従来の考え方に固執する方については一旦登板を見送るなど、我々のゴール目標に共感できる社会人を選定する必要あり。今回、改めて浮き彫りとなった。



3

外部環境変化

時期	大学3年生												大学4年生									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	月		
2012年卒以前							● 2	★ 1							● 3					● 4		
2015年卒以前								★ 1	● 2					● 3						● 4		
2016年卒 (前回実施)												★ 1 ● 2					● 3			● 4		
2017年卒 (今回実施)									★ 1 上旬			● 2			● 3					● 4		
2018年卒 (次回実施)												★ 1								● 4		

★1: 進路相談会(大人数を対象)

●2: 経団連加盟企業の広報解禁日

●3: 経団連加盟企業の選考解禁日

●4: 内定解禁

→ : 経団連加盟企業選考

→ : 非加盟企業(外資等)選考

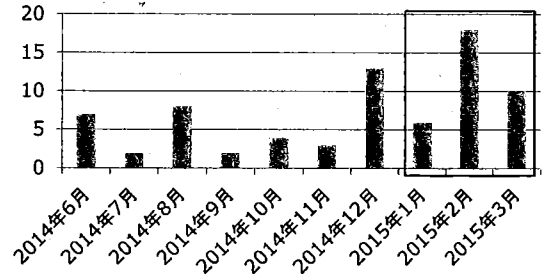
4

16年度アンケート(再掲)による振り返り & その他

【学生アンケートの結果】

- 1 学生約90名の参加者のうち、73名が回答(男女:31・42)
- 2 就職活動開始時期、2015年年明け以降に本格開始が参加者の約半分弱(46.5%)
インターンシップ経験者等活動開始から半年以上経過した学生は26%に留まる
- 3 社会人と話ができたというだけで満足する学生が非常に多い(定性情報より)のだが、
社会人との対話内容による満足度・好評価ではない
- 4 この就職活動開始時期をキーに分析した結果
・冒頭のオリエンテーションのみ好意的満足度の低い(5段階の2・1をつけた)学生が少数だが散見
・上記学生の共通点は開始時期の遅さ(2015年年明け以降)。彼らの定性コメントには、
内容がわかりづらい・事前にテーマを提示してほしいという記載あり
・一方、半年以上準備している学生の好意的満足度の高い(5段階の5・4をつけた)学生が大半、
内容に関する不満意見が一切ないことから、オリエンテーションの方向性は間違っていない。
よって、活動初期の学生に対して平易に理解しやすい内容を施すのであれば、早めの開催を要検討。
⇒ここを見直す。活動初期の学生と多数の一般学生を一軸で考えることに無理があった!
- 5 希望業界はここ数年の傾向と同様、銀行・証券・保健といった金融業界と食品業界が多い
このことから、安定志向の根強さがうかがえる。一方、昨年は多かった総合商社志望が減少、
逆に広告業界を志望する学生が対前年で増加していることが特長。
- 6 3月にして、第一志望業界が未定であるという学生が半分もいることが例年にない傾向。
- 7 この傾向は価値観においてもいえ、一番大事にしている価値観がわからないという学生が半分以上。
複数選択している方の価値観は、自己のやりがいよりも給料・福利厚生・勤務先が気になる様子。
⇒ここを見直す。活動初期の学生は必ずしも、この価値観ではない。ピンポイントでアプローチする。
年次支部(若手)と学生のネットワークを最大限利用し、将来の年次支部設立の礎を築く。

活動開始時期と人数



よく利用しているSNSは? あてはまるものをすべて選んでください(複数選択)
※回答者数を母数に集計

SNS	割合
・LINE(ライン)	95.3%
・Twitter(ツイッター)	71.8%
・Facebook(フェイスブック)	51.2%
・mixi(ミクシィ)	1.6%
・Google+(グーグルプラス)	3.1%
・GREE(グリー)	0.4%
・Mobage(モバゲー)	1.0%
・Instagram(インスタグラム)	21.1%
・pixiv(ピクシブ)	6.6%
・Ameba(アメーバ)	4.1%
・その他	1.2%
・SNSは使わない	1.6%

【その他】

- 1 先日より、イベント実施時期が例年と比較して早かったことが失敗の要因。
しかし、外部環境も年々変化していることから、その変化に対応する柔軟な時期設定も要検討。
- 2 某社の右記データより、学生が情報入手する手段として、SNSにかなりシフト。
そのうち、LINE・Twitter・Facebook が主流であることが判明。

まとめ(4C分析)

<p>CompanyならぬCommittee</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 強み 2016年活動方針のミッション・ゴールを参照 	<p>Competitor</p> <p>就職支援会社ではないので、取組そのものが競争に打ち勝つといった性格のものではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 外部環境対応 他大学の優秀層学生とのギャップを埋めるトライアル施策
<p>Co-operator</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学生会本部事務局・南甲倶楽部 従来からの関係を益々強化させる ➢ 中央大学キャリアセンター・国際センター 適切なコミュニケーションを図り、相互に関係を正しく理解する 国際センターとは二度のトライアルを経て一旦総括を行う ➢ 協力社会人 我々のゴール目標に共感できる人・学生に多様な価値観を提供できる人・学生のキキタイことを的確に捉え、各種経験から助言できる人、これらの要件を満たすOB/OGへ早期接触&スケジュール確保を行い、相談会の質的向上を図る 	<p>CustomerならぬConsumer</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学生を大きく2グループに分けて接触 早期活動開始の学生、一般的な大多数の学生の2グループ 早期活動開始学生へはピンポイントアプローチを実施予定 学生の顔が見えている優秀な若手社会人(20代前半)の協力が不可欠 ➢ 若手支部設立への足掛かり 優秀層と呼ばれる学生が担うことを想定。柔軟な進路相談対応を通して、学生とおしが本支援の重要性に気づきかけの提供。将来の支部設立準備に繋げる

2016年度 活動方針

学生支援委員会

2016年3月12日

年次支部協議会

目指す姿

ミッション・ターゲット・ゴールは昨年度を踏襲する想定ですが、学生(卒業生)に対する社会の要請を検討のうえ、適宜修正を加える場合もあります。

ミッション

- 学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。
- その機会（学生と社会人の接点）を通じて、学生があと一歩で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。

ターゲット

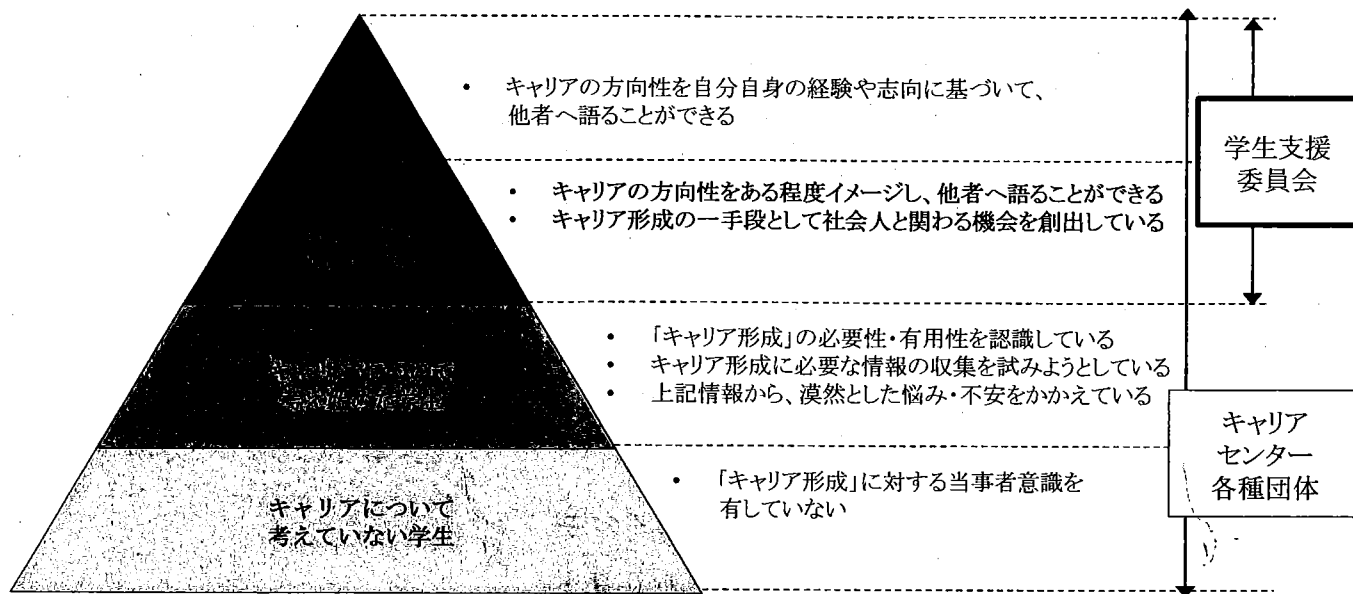
- 今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者（学生/社会人）との対話を通して自覚できる学生
- あるべき姿に近づくために粘り強く努力する行動力（実現力）のある学生

ゴール

- 学生は他者（学生/社会人）との対話を通して価値観の多様性を認識し、キャリア選択の自走化に繋げる。
- 学生支援委員会は、自ら切り開くキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。
- 支援策を通して、卒業後の年次支部立ち上げに寄与するネットワークの構築に繋げる。

※中央大学の「Go Global」などの方針に呼応するよう、内容や協力者を工夫することも想定しています。

(参考)学生支援委員会の支援対象者のイメージ




13 May 2016
3

学生支援委員会の支援内容


キャリア形成(就職活動)を検討し始めた対象学生に対して、現役社会人を中心とした講義型・対話型併用のプログラムおよび講演会を実施する。

① 基調講演




- キャリアや就職活動を考えるうえで重要な事柄について、社会人経験豊富なOB/OGあるいは専門家からご講演いただく
- 近年は「南甲倶楽部」にご協力いただいている

② レクチャー



- キャリア形成の勘所を講義形式で説明する
- キャリアについて考えてもらう土台を作ると(社会人と対話する基礎をつくる)

③ 進路相談会



- 多様な業界・業種の現役社会人によるキャリア形成に関する相談会
- 仕事・プライベートなど幅広くざっくばらんに話してもらう
- 少人数のグループ別相談会を複数回実施

※参加者や会場の関係からプログラムの順序は変更となる場合もあります。

	3~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マイルストーン	★キックオフMTG					★プレイベント(TBD)	★学生支援企画	事業/会計報告★	
戦略	戦略策定 スケジュール確定	協力者リスト作成 内容検討	協力者依頼 内容検討	協力者確定 内容確定		企画準備			
運営管理	日程調整 会場調整 会場確定		社会人等調整						
広告宣伝		デザイン企画 学内配布箇所との調整				冊子準備	印刷		
			Webページ作成		印刷・掲示/配布 WebページUP		LINE, Twitter, Insta拡散		
その他	学生スタッフ募集								
関係者									

13 May 2016
5

PRコンセプト：少人数で社員の本音が聞ける貴重な機会である事を学生に訴求！

PRコンセプト

■【PRコンセプト】

- ・メッセージ=社会人と少人数で話ができる事のメリットを訴求
※聞きたい“本音”が聞ける
- ・参加社会人企業名=大手（グローバル要素）、外資（選考を進めるかの確認）、ベンチャー（勢い）で数社記載
- ・実施概要（スケジュール、場所、内容）



■【必要な事】

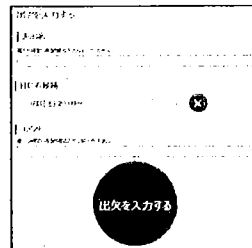
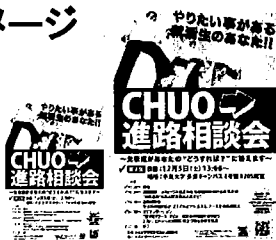
- ・チラシ配布開始の3ヶ月前までに、会場、スケジュール、コンテンツ、参加社会人の決定
- ・ターゲットとする授業、イベントの洗い出しと配布許可
- ・信用度が高い掲示板への掲載許可
- ・プレイベントで伝道師となりうる学生への接触
- ・在学生内の情報伝達網の把握と拡散が当たり前のようにできること（主体性の高い人達で形成）
- ・webランディングページにおける“参加ボタン”の設置（出来ればリマインダへの連携）

13 May 2016
6

(参考)PRプランイメージ

■【制作物】

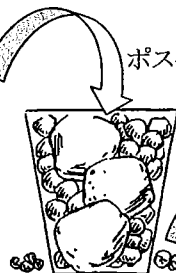
- ・チラシ
- ・ポスター（サイズ：B1予定）
- ・twitter、LINE拡散用画像
- ・webページ



■【配布、リーチ先】

- ・チラシ=企業研究、インターン、キャリアデザイン系の授業後配布
=合同説明会、自己分析、学生イベント就活イベント後配布
→目的：興味を抱き易いであろう学生へピンポイントで情報伝達
- ・ポスター=キャリアセンター、学内掲示板へのみ掲出（サイズ：B1予定）
→目的：情報信用度の高い掲示板への掲出に絞り、
チラシでリーチ出来なかった学生をカバー
チラシでリーチした学生へのフォロー
- ・twitter、LINE=上記チラシ、ポスターでリーチ出来ないユーザーへの訴求
Facebook
→目的：大学へ足を運ばないユーザーへの訴求
休校期間中のイベント参加予定学生のモチベーションフォロー

チラシで気付かせ!



ポスターでフォロー!

Webで再フォロー!



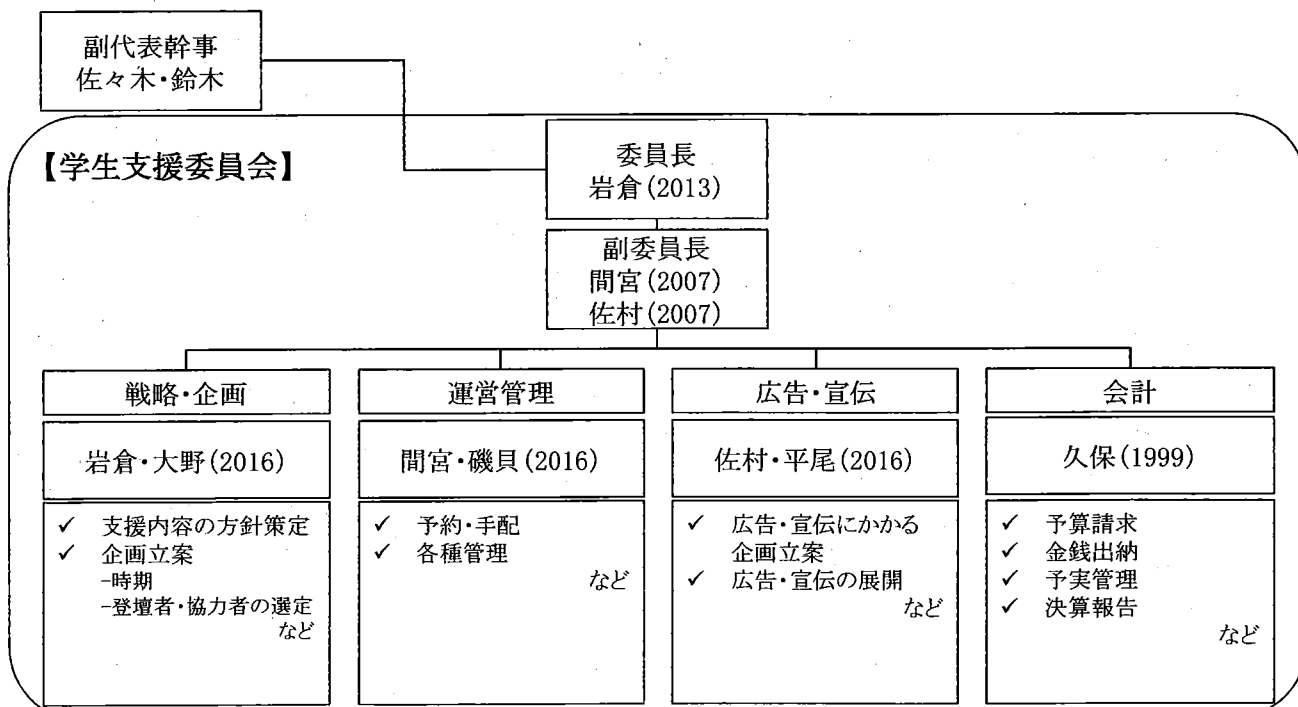
■【導線】

- ・チラシ、ポスター→QRコード撮影→webページへランディング→参加ボタンクリック
(※参加ボタンクリックにより、個人のスケジュールに自動連携され、リマインドが出るように出来るのが理想) 7
- ・twitter、LINE→webページのURLと共に拡散→以後上と同じ

13 May 2016

体制図

社会人を中心に本委員会の活動を推進しますが、必要に応じて学生と連携し、協働することも想定しています。学会会の活性化につなげます。



	3~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2~3月	金額	
マイルストーン	★キックオフMTG					★プレイベント	事業/会計報告★	★学生支援企画		
スケジュール表より抜粋		協力者リスト作成	協力者依頼	協力者確定	学生支援企画準備					
デザイン企画		デザイン企画							50,000	
【各種制作費】 チラシ ポスター Web媒体			プレ冊子準備・印刷		企画冊子準備・印刷				50,000	
			チラシ・ポスター作成			印刷・掲示/配布				60,000
			Webページ作成	WebページUP	LINE, twitter, Face投稿				60,000	
当日の 昼食・飲料 費用						★プレイベント	★学生支援企画		60,000 1200円×50人 2回分合計で	
その他			プレイベント企画・準備 (ピンポイントアプローチ)		各種消耗品				50,000	

合計: 330,000

13 May 2016

9

その他

学生支援委員会の活動を推進するために、大学内組織に対してお願いをすることがあります。ご協力頂けますようお願いいたします。

《スケジュール》

- ✓ 大学（キャリアセンター）とのスケジュール調整

《広告宣伝》

- ✓ 学内掲示板の利用に関する確認（学部掲示板等）
- ✓ 学内での案内に関するご協力

2015 大学支援委員会 実施報告

1. 4つのテーマで活動

- (1) 大学のグローバル化推進を支援する。
- (2) 学生の実務教育について支援する。
- (3) 大学や学生が行なう社会貢献活動を支援する。(産学官連携、地域・地方支部との連携)
- (4) 学生スポーツの応援 (スポーツ応援団との連携協力)

2. 実施報告

(1) について、

- ① 中央大学国際センターに協力し、大学で10月に開催された、文部科学省主管の「GO GLOBAL 英語プレゼンテーション大会」の学内予選に、年次支部協議会が協賛(図書券等贈呈)を行なった。
 - ・ 学生参加者数9組36名であり、その後のティーパーティで学生や学内関係者と懇親を深めた。
 - ・ 11月に関東地区18大学の中、決勝の8大学に選出されたが、入賞を惜しくも逃した。
- ② 中央大学国際センターを通じ、ハワイ中央大学事務所(ハワイ大学マヌア校)を紹介いただき(仮称)ハワイ白門会と(代表者鮎沢氏)との連携の橋渡しを行なった。
 - ・ 12月に当委員会委員が現地の学員数名と意見交換し、中央大学留学生への支援体制について協議を行なった。
- ③ (課題事項) 中央大学学生の海外留学促進のための奨学金制度の充実が必要だと認識(現在、年間約100名が留学、奨学金は60名の枠、一人当たり20~30万円/年・・・少額)

(2) について

- ① 大学の関係部所(キャリアセンター等)と協議を行ない協力要請を受けたが、日程的に講演会を実施できなかった。(学員より講師として、8名の方(専門家、経営者等)から協力の了解をいただいた。)
- ② 大学で行なわれている学部横断的勉強会に委員が参加した。
- ③ 経済学部ゼミ連合会の前代表・現代表・実行委員長より、講演会講師派遣等の協力要請を受けた。

(3) について

- ① 地方創生、地域連携に関し、学員である県会議員の紹介で委員会委員が、香川県東京事務所副所長、香川県産業企画部長と面談しヒアリングを行なった。
- ② 多摩ニュータウンの再生について、学員から都市機構等に打診を行なった。
- ③ 空家、シャッター通りの再生について、都内商店街(複数)と再生検討会を行なった。

(4) について

箱根駅伝選手応援のため、小田原在住の白門45会会員のご協力により、箱根大平台に横断幕を設置した。

以上

2016 大学支援委員会事業計画

※大学支援委員会の目的

『中央大学を支援し、ブランドの圧倒的な向上に寄与する。』

1. 大学のグローバル化推進を支援する。……国際的に活躍できる人材の育成支援
2. 一流の経済人を輩出できるよう学生の支援を行う。……「建学の精神：実地応用の素を養う」
また、社会的な課題への取組みや貢献を行なう大学や学生の活動支援を行なう。
3. オリンピックや、箱根駅伝で活躍できるように学生スポーツの応援を行なう。
(スポーツ応援団と連携協力を行なう。)

1. グローバル化支援活動 (※)

(1) 中央大学国際センターと連携し、「GO GLOBAL JAPAN」英語プレゼンテーションコンテストの学内選考会に協賛し、参加学生増加施策として図書券を贈呈する。(昨年度より実施)

①スケジュール (昨年度)

- 6月 文部科学省より「GO GLOBAL JAPAN」の概要発表
- 9月 大学より学内選考会および首都圏地区コンテストについて発表
- 10月 学内選考コンテスト※
- 11月 首都圏地区コンテスト

(2) 日本人学生と留学生の自然な文化的交流の支援を行う。(学生主催イベントへの支援)
文化交流(お祭りや音楽会、スポーツ大会等の開催の支援)を通じて、それぞれの国の理解が自然に進むよう協力する。

2. 実地教育支援 (※)

(1) 経済学部ゼミ連合会(学生団体)への協力(人的支援)

「経済学部プレゼンテーション大会」の開催(11月5日)に向け協力を行なう。

①ゼミ連合会から、講演会へ講師派遣の協力要請があり協力を行ないます。

(理由)ア. 学問と実社会の経済を同時理解したい。

イ. 参加チームのプレゼンテーションの内容にムラがあり、全体的なレベルアップしたい。

②スケジュール

- 5月 事前説明会
- 7月 提出資料説明会
- 7月上旬～中旬 「経済」に関する講演会(講師派遣)※
- 9月下旬以降 「プレゼンテーション」に関する説明会(講師派遣)※
- 10月 直前説明会
- 11月5日開催予定※

(2) そのほか、社会的な課題への取組みや地域貢献を行なう大学や学生団体へ協力を行ないます。

3. 学生スポーツの応援（※）（スポーツ応援団との連携と協力）

(1) 箱根駅伝応援のため、箱根大平台に「闘魂たぎる火と燃えよ！」の横断幕を設置する。

①スケジュール（地主様宛）

6月 全日本駅伝大会予選会結果報告

10月 箱根駅伝予選会結果報告

11月 設営について承諾を取りつける。

12月中旬、横断幕の設営実施※

設営後～撤去まで、適時点検を行なう。※

1月2日、3日 大平台（5区）で、学员多数（約30名）が応援を行なう。※

1月3日 横断幕を撤去。※

※上記「1. グローバル化に関すること」「2. 経済に関すること」について、講演会講師の要請があります。ご協力をお願いします。

連絡先 小田 090-6469-7737 si_ma1982@yahoo.co.jp まで

Presentation Competition in English, 2015

Go Global! 中央大学 英語 プレゼンテーション大会

2015年10月10日(土) @Gスクエア
Saturday, October 10th, 2015 @G-Square

時間 Time	内容 Contents
10:00	オープニング / Opening
10:15	プレゼンテーション / Presentations <small>Seaback for titles in English</small> テーマ: アジアそして世界の未来を築く「EIAプロジェクト」 Cooperation Project which will make the Future in Asia and the World. 第一部 ①教育改革 ②電子「E」時代の「E」化 ③アジアの「E」化 ④English puts knowledge into action ⑤Let's WASH in University
11:30	休憩 / Break
11:45	プレゼンテーション / Presentations ⑥インドネシアと日本における地域の防犯: コミュニティ防犯と自助・共助 ⑦Mental health issues in Cambodia ⑧室内空気汚染削減プロジェクトカンボジア ⑨民泊ネットワークプロジェクト
12:45	休憩 / Break
13:45	第二部 (1) 世界へはばたく吾人 小田 真吾 氏 (2) 視察報告「What I saw in Zambia」ザンビアにおける日本の国際援助 河本 梨絵 氏
14:45	プレゼンテーション大会の総括、表彰 <small>Announcement on the result and prize giving</small>
15:20	懇親会 / Gathering Party

◆審査員◆
 ワーラットン・マウシム (経済学部准教授)
 Prof. Marim WOOLLERTON
 増田 佳子 (商学部教授)
 Prof. Keiko MASUDA
 マンゴラス・ジョン (文学部教授)
 Prof. John MATH HEWS
 小川 正純 (国際センターコーディネーター
 国際政策研究科特任教授)
 Prof. Masazumi OGAWA
 ◆メインMC◆
 ヘッセ・スティーブン (国際センター副所長
 法学部教授)
 Prof. Stephen HESSE

◆講演◆
 「世界へはばたく吾人」
 小田 真吾 氏 / Mr. Shinichiro ODA
 中央大学学生会 年次支部協議会 大学支援委員長
 株式会社大京のフォーラム デザイン 取締役
 ◆視察報告◆
 「What I saw in Zambia」ザンビアにおける日本の国際援助
 河本 梨絵 氏 / Ms. Rie KOMOTO
 中央国際センター (JICA国際協カレポーター2015参加)

※本大会は、11月に行われるGo Global Japan 日本第2ブロックイベント「学生プレゼンテーション大会」にエントリーする本学代表チームの選考も兼ねています。また、上記3チームは10月25日開催のホームカミングデーでも発表を行います。

◆主催◆ 中央大学 (運営: 国際センター)

◆協賛◆ 学生会年次支部協議会



経済学部プレゼンテーション大会 2016 の概要

経済学部プレゼンテーション大会（学内大会）とは、経済学部所属ゼミの演習 2 を履修している学生がゼミ内でチームを組み、研究分野ごとに部門に分かれ、部門ごとにプレゼンをし、その内容を競い合う大会。

開催日

11月5日（土）

12:00～（予定）

場所

中央大学多摩キャンパス 6号館、7号館（予定）

対象

中央大学経済学部ゼミ演習 2 を履修している 3 年生

参加条件

次の条件を満たすゼミのみとする。

1. 経済学部に所属し、演習 2 を履修している
2. 演習ゼミの担当教員は審査員になる
3. 参加ゼミから選出された 1 名は実行委員になる

参加者の義務について（実行委員制度）

- ・参加者は大会規則、期限等を遵守する。
- ・参加ゼミから選出された 1 名は経済学部プレゼンテーション大会 2016 を運営する実行委員会に参加する。

（全6名中3名）
（詳細略）

年次支部協議会広報部 平成27年度事業報告 平成28年5月14日

活動実績

年次支部協議会 会報4号・5号の発行

① 発行内容

A 年次ニュース第4号は学員向け 1000部 10月20日発行

内容

- 1、第24回ホームカミングデー（創立130周年を祝う白門の祭典）の案内
当日の記念式典及び各イベント紹介等
- 2、ホームカミングデーに寄せて、支部からの報告
祝卒業50周年（40会）、蘇る卒業式の思い出（44・45会）
嘶家OBへの激励落語会報告（57ネット）
- 3、海外支部便り（モンゴル支部、ロンドン支部 の女性OG）
- 4、年次支部協議会委員会の主な活動報告
- 5、活躍する学生達～司法試験等の合格実績、活躍したスポーツ部門、文化連盟紹介等
- 6、今後の予定

B 年次ニュース5号は学員1000部 及び新卒業生向け6000部 3月10日発行

内容

- 1、新卒業生への祝卒業特集版～ 久野学員会会長より祝辞
- 2、年次支部協議会松木代表幹事からの祝辞、昨年12月開催の44・45会忘年会での2015年
支部会員&2016年新卒業生との交流の様子
- 3、2016年卒業パーティ企画の案内 & 新卒業生代表達からのメッセージ
- 4、学員会紹介他、全国支部長会議・学員総会日程のお報せ、HPコンテスト開催案内
- 5、年次支部協議会の紹介、12月19日開催の全体会と室学員会副会長による「マイナンバー制度
について」の講演会開催報告
- 6、ホームカミングデー報告（平成27年10月20日開催）
- 7、教職員からのメッセージ（駅伝経験者の経済学部教授と 国際交流センターの女性職員からの卒
業生への応援メッセージ）
- 8、市政の場で活躍するOGからのメッセージ
- 9、白門りんごの会、第3回収穫体験ツアー報告と青森支部との交流会報告
- 10、男子バレー、アイスホッケー他、活躍した学生スポーツの他、正月駅伝の報告

② 収支

4号（2015年10月20日）発行費	8頁	239,000 円	（1000部）
5号（2016年3月10日）発行費	8頁	411,000 円	（7000部）
送料 他		59,922 円	
合計		709,922 円	（本部申請額 700,000 円）

1、 事業の名称

年次支部協議会 会報の発行 及び 年支部協議会広報活動

2、 事業主体

中央大学学会年次支部協議会 広報部会 (担当責任者 佐藤愛子広報部長)

3、 事業目的

(ア) 学員全体の緊密なネットワークを構築するために、定期的に会報を発行し

ホームページの推進と共に、年次支部協議会の広報活動を活発化させ、中央大学の貢献に寄与すること

(イ) 学員や学生への広範囲な取材を通じ、年次、地域、職域を超えて参加出来る様な大学関連行事、支部活動の様々な情報を提供することにより、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする

(ウ) 現役学生に対する就職支援、進路相談の情報を提供する

(エ) 新卒会員に対しての学員会及び年次支部協議会のPRや多くの著名なOB会員の紹介シリーズの掲載も含め、卒業後のサポート体制作りを推進していく

4、 事業概要

<会報発行実施時期> 平成28年度は、28年10月、29年3月頃に2回/年 発行予定

(主に10月は年次・地域支部等の学員会会員対象、3月は卒業生対象)

(ア) 年次支部協議会事業計画、活動報告、各委員会活動報告 (IT推進委員会 HPと連携)

(イ) 各支部活動状況紹介、イベント・交流会案内

(ウ) HCD等の大学関連行事、学生スポーツ応援、演奏会、講演会等の案内、活躍しているOB、学生・サークル等の紹介

(エ) 学員OBへの学生支援 (就活・復興支援などボランティア活動) の協力依頼

(オ) 従来は学員時報、各支部の会報に委ねてきたが、他の情報誌に紹介されないようなオリジナルな記事、会員の声を掲載する

5、 期待される成果

(ア) 学員及び準会員に年次支部への加入を促し、年次支部協議会の存在認識や学員会の活動内容の理解がない多くの一般会員にPR効果が期待できる

(イ) 会報発行が年次や地域を越えた一般会員、若い世代への幅広い情報提供になり、交流機会の増加、学生への支援活動等の宣伝が、学員及び準会員の大学ネットワーク構築にも貢献出来る

6、 会報発行予算案

会報発行部数：

10月発行 1000部 (配布先：各支部500部、本部配布300部、その他200部)、

3月発行 7000部 (配布先：準会員6000部、この他10月発行と同じ部数)

会報発行予算：

・総額 700,000円の内

① 6号 (1000部) 250,000円 ②7号 (7000部) 420,000円 ③会報送料他 30,000円

(学員会本部への支援申請額：700,000円)

第25回中央大学ホームカミングデーの進捗状況について

平成28年5月14日(土)

年次支部協議会ホームカミングデー担当副代表幹事 掛水省三

タイトル：第25回中央大学ホームカミングデー ―白門学員祭―

開催形態：主催 学校法人中央大学 協賛 中央大学学員会

コンセプト：中央を超える、中央へ

はばたけ！Chuo Vision 2025

動員目標：6000人

1. 開会式 (2000人)

1) 校歌斉唱

2) 応援歌

3) 2010年度卒業記念式典―5年後の再開―開会式に組み込む形で実施

①式辞 中央大学学長

②理事長式辞 中央大学理事長

③会長式辞 学員会会長

④来賓式辞 (未定)

⑤卒業生答辞 (未定)

4) 中央の絆

5) 親子3代表彰

2. 新海誠氏 講演会&作品上演会 (2000人)

3. 蓮池薫氏&島田敏男氏の対談 (500人)

4. 藤原正和駅伝監督激励会 インタビュー形式で (500人)

5. 白門駅伝大会 (1000人)

6. 寄席の世界を楽しむ (200人)

7. 演奏・演技 (800人)

8. 卒業50年学員懇親会 (200人)

9. 2010年度卒業記念パーティー (500人)

10. 模擬店

11. その他

※前回の動員目標は8000名でしたが、施設の収容能力および安全面の確保の観点から6000名とすることになりました。また第24回同様、クオカード配布、無料抽選券の配布もいたします。さらに熊本地震義援金の募金箱の設置も決定されました。なお()内の数字は動員予想人数です。

2016年5月14日

新募金制度 「白門飛躍募金」について

募金推進事務局

1

創立125周年記念事業募金

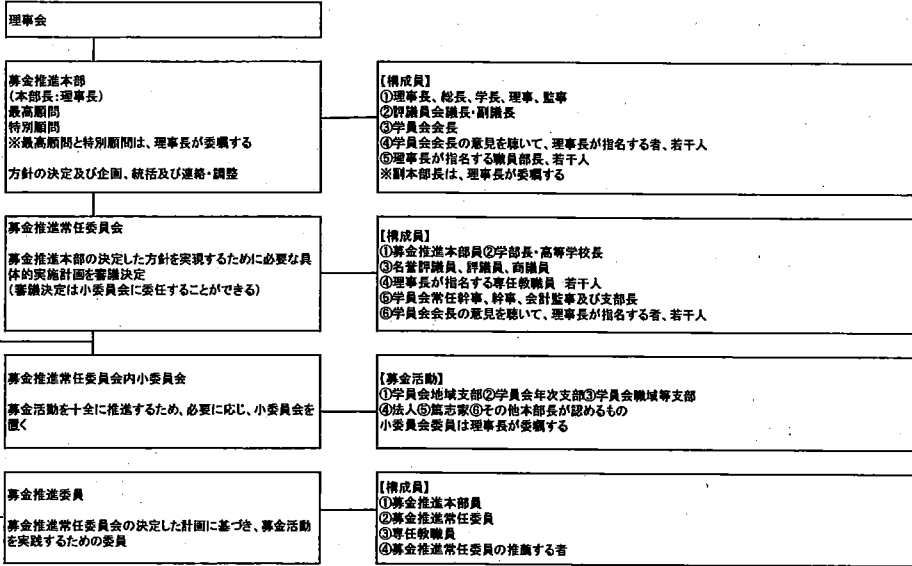
「中央大学創立125周年記念事業報告書」*
をご覧ください。

- 創立125周年記念事業募金寄付申込額
- 創立125周年記念事業計画と募金状況

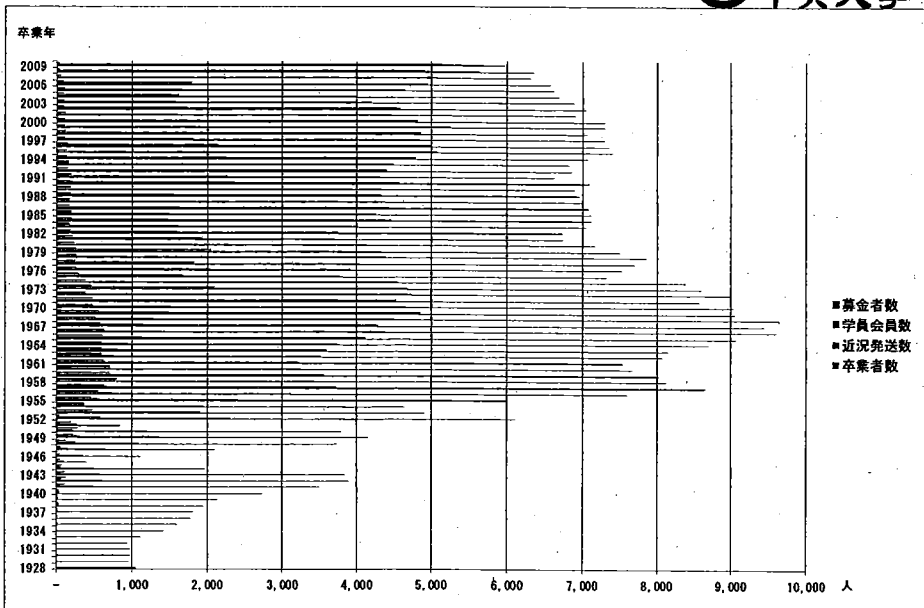
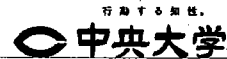
* 寄付者に郵送済み

2

125周年記念事業募金 組織



創立125周年記念事業募金 学員 卒業年別募金人数状況



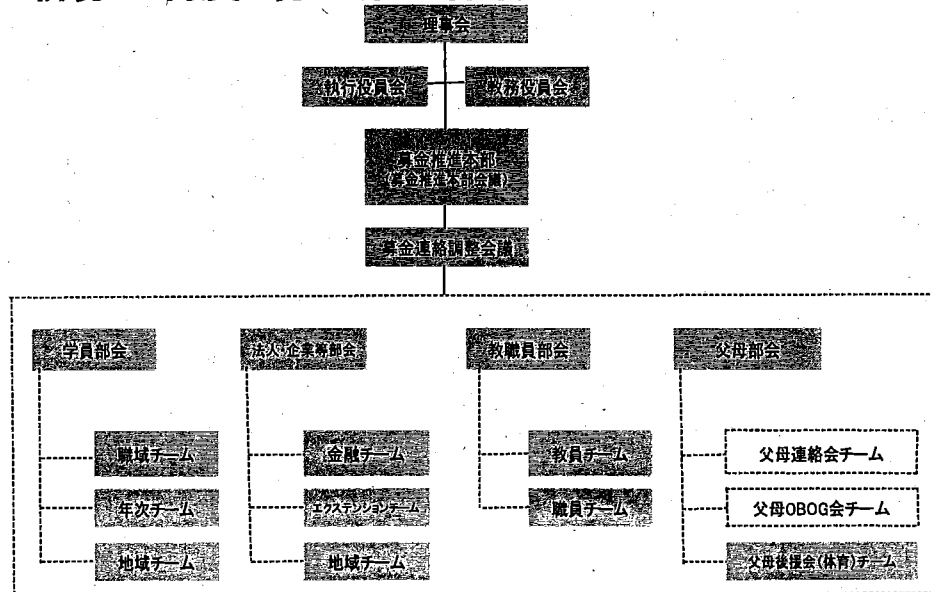
新募金制度 募金推進体制



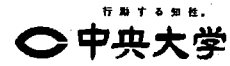
- 募金推進本部
理事長・総長・学長、常任理事、教学行政職互選1名、理事 数名、
評議員会議長・副議長、学員会会長、学員会副会長 数名、
職員部長 数名
- 募金連絡調整会議
常任理事、教学行政職互選1名、理事若干名、学員会副会長 数名、
職員部長 数名
- 部会、チーム
常任理事、教学行政職互選1名、理事若干名、学員会副会長 数名
学員会支部 職域支部・年次支部・地域支部より数名

* 2016年4月11日 理事会で規程制定
2016年6月 募金推進本部会議を開催

新募金制度 募金推進体制



新募金制度 プロモーション案



5月上旬	5月下旬	6月上旬	7月上旬	10月下旬	11月下旬	
<p>趣意書完成 2万部</p>	<p>5/20全国支部 長会議(学員会) 5/21定時学員 総会 5/28評議員会 125周年募金等 の御礼、募金依 頼と趣意書を配 付 支部総会等に役 員が出席し、依 頼・配付</p>	<p>ネット決済開始 (予定) WEBの内容の充 実 新募金制度の紹 介 税制度の紹介 募金項目、活躍 する学生の紹介</p>	<p>学員時報(6/10 号 22万人 住 所判明者全員) で新募金制度の 紹介</p>	<p>7/30商議員会 募金依頼と趣意 書を配付</p>	<p>10/23HCD 趣意書(夏に増 刷予定)を配付 現金での寄付も 受け付ける キャッシュカード の決済は要検討</p>	<p>「募金新聞」 (仮称) 多くの学員に 郵送</p>